



Newsletter



平成 27 年度事業報告・収支決算

財団は6月8日に理事会を開催し、「平成27年度事業報告」及び「平成27年度収支決算」等を審議し、6月29日の評議員会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成 27 年度事業報告

1 学術情報の収集調査及び情報発信・普及啓発

(1) 『学術の動向』の発行

日本学術会議の事務局の編集協力を得て、総合学術情報誌『学術の動向』を刊行した。同誌には、国内外の学術の動向を特集するほか、日本学術会議の活動状況等を紹介し、広く大学、研究機関、学協会、一般国民に周知した。

(2) 『学術会議叢書』の発行

国民生活に密着した話題にタイムリーに対応し、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学術会議が主催した公開講演会の記録をベースに関連資料及び解説を加えて編集した学術会議叢書を刊行しており、平成27年度は、次の1冊を刊行した。

・学術会議叢書 22 『地殻災害の軽減と学術・教育』

学術会議叢書 22 は、(公財) 一ツ橋総合財団からの助成を受けて、全国約 1,500 ヶ所の国公立図書館・大学等に寄贈するとともに、賛助会員たる学術団体等に無償配布した。

2 学術連携推進事業

(1) 科学者連携事業

日本学術会議の主催の講演会、シンポジウム等の事業について、学術普及・啓発事業の一環として協力した。

(2) 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信

—データベース『学会名鑑』Web版

我が国学協会に関する包括的なデータベースである『学会名鑑』Web版について、一層の利・活用を図るため、(国研) 科学技術振興機構(JST) 及び日本学術会議と連携・協力し、収録学協会の拡大及び収録データ事項の充実を行った。

this issue

平成27年度事業報告・収支決算
データベース学会名鑑について
賛助会員の状況
新『学術の動向』編集委員会スタート
学術関係団体事務支援事業
公開講演会開催に対する支援
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒106-0031
東京都港区西麻布 3-24-20
TEL 03-3403-9788
FAX 03-5410-1822
URL
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2016年7月1日発行

平成 27 年度事業報告（続き）

(3) 国際学術交流事業の実施

同事業の今後の在り方について、当財団の事業運営及び財政の改革に関連して、検討を続けた。

(4) 学術調査研究事業の実施

同事業の今後の在り方について、当財団の事業運営及び財政の改革に関連して、検討を続けた。

3 学術関係団体事務支援事業の実施

日本学術会議同友会、日本医歯薬アカデミー、日本農学アカデミー、硬組織再生生物学会等学・協会からの要請を受けて、各団体活動に係る事務の支援を行った。

4 事業運営及び法人財政の改革

(改革の基本方針)

(1) 活動目標について

平成 25 年度に公益財団法人に移行した当財団として、今後は、日本の科学者コミュニティ全体を対象として、科学と社会の在り方、科学者の社会への責任等のテーマに即したオールジャパン型の議論の場を作り、様々な関係者や組織のネットワーク化を図る。

(2) 『学術の動向』の在り方について

総合学術誌『学術の動向』について、今後は、上記の目標を反映した幅広い観点からの論文等も発表していく。

(3) 財政基盤の改善について

当財団の財政事情は極めて厳しい。法人収支の改善に繋がる現実的な方策について、検討する。

平成 27 年度収支決算

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)
(単位：千円)

科 目	予 算
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 事業活動収入	
基本財産運用益	325
受取会費	12,070
事業収益	7,405
受取補助金等	1,500
受取寄付金振替額	6,309
雑収益	53
経常収益計	27,662
(2) 経常費用	
事業費	18,139
管理費	11,021
経常費用計	29,160
当期経常増減額	△1,498
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
一般正味財産期末残高	9,215
II 指定正味財産増減の部	
指定正味財産期末残高	36,772
III 正味財産期末残高	45,987

データベース学会名鑑

リニューアル公開について

データベース学会名鑑については、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益財団法人日本学術協力財団の協力の下、平成 23 年 7 月より運営してまいりましたが、掲載情報の拡充及び操作性の向上等を目的として、本年 3 月 31 日、ウェブサイトを全面リニューアルいたしました。

新・学会名鑑に掲載しておりますデータは、日本学術会議が平成 27 年度に「協力学術研究団体」を対象に行いました実態調査を基としております。

操作面においては、各学協会がいつでもログインし、掲載情報を更新することが可能となりました。

各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

学会名鑑 URL : <https://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

賛助会員の状況

財団の平成 28 年 3 月 31 日現在の賛助会員数は、次のとおりです。(単位：人・法人)

	区分	個人	学術団体	企業等	合計
26 年度	入会	78	0	0	78
	退会（逝去含）	50	3	0	53
	年度末現在	931	92	1	1,024
27 年度	入会	11	0	0	11
	退会（逝去含）	37	1	0	38
	年度末現在	905	91	1	997

賛助会員については、『学術の動向』の無料配布、出版物の割引頒布があります。



新しい『学術の動向』編集委員会スタート

当財団では、学術を巡る内外の状況をふまえて、刊行している総合学術誌『学術の動向』の今後の企画・編集について、新たな特集として、「科学と社会」に焦点を当てた論考を掲載するとともに、従来から特集として掲載しております日本学術会議主催シンポジウムの記事についても、より一層分野横断の観点を強めた紹介・報告に力を入れていきたいと考えております。

今後、このような編集方針の下で、学術関係者をはじめ、科学と学術に関心を持つ社会各層の期待に応える発信に努めてまいりますので、読者各位のご購読とご支援をよろしくお願いいたします。

具体的には、従来の同誌編集委員会委員に加え、新たに、7名の編集委員を委嘱して、新しい『学術の動向』編集委員会を7月1日に発足させました。

新任の編集委員会委員は、以下の7名の方々です。

秋山弘子	東京大学高齢社会総合研究機構特任教授
石田寛人	公益財団法人本田財団理事長
大竹 暁	内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官
狩野光伸	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授
島 蘭 進	上智大学大学院実践宗教学研究科教授
武市正人	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部長・教授
安成哲三	人間文化研究機構総合地球環境学研究所所長 (敬称略)

今後、新誌面作りの準備を進め、新しい『学術の動向』の刊行は、来年（平成29年）4月号を目指しております。

準備状況は、このニュースレターでもご報告してまいります。

読者の皆様の期待に応える学術誌作りに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学術関係団体事務支援事業

【日本医歯薬アカデミー】

4月14日に理事会及び総会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本学術会議同友会】

4月15日に総会及び懇親会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本農学アカデミー】

7月30日、東京大学農学部中島ホールにおいて総会及びミニシンポジウム「消費者の食の選択に関する疑問に答える」が開催されますが、財団がその支援を行います。

日本学術会議部会・地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行います。

◎九州・沖縄地区会議主催

「いのちを守る見事な仕組み」

平成27年7月22日（金）

於：ニューウェルシティ宮崎

◎第一部主催

「続 人文・社会科学と大学のゆくえ」

平成28年8月10日（水）

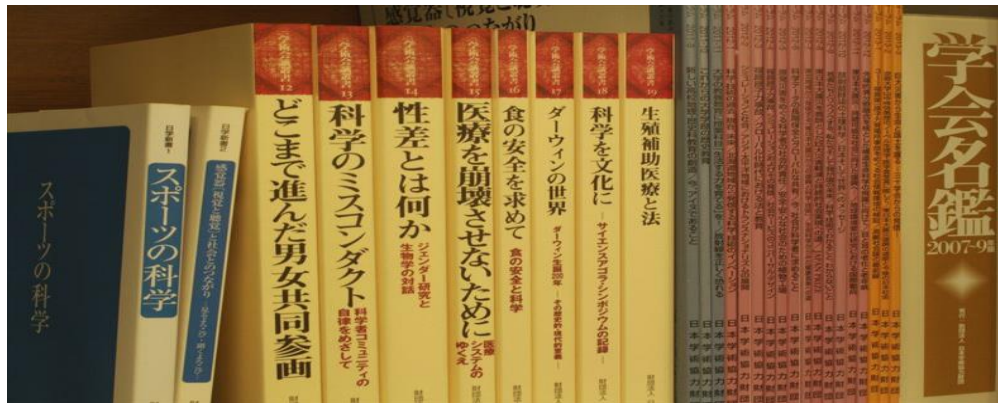
於：日本学術会議講堂

◎第二部主催

「ゲノム編集技術の現状と将来展望」

平成28年8月19日（金）

於：東京大学鉄門記念講堂



出版物のご案内 ※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円 + 税 (送料込)
 年間購読 8,230 円 (税・送料込)
 賛助会員は無料配布

- '16 年 4 月号 再生可能エネルギーの利用拡大に向けて
 —再生可能エネルギーの世界の動きと日本の現状—
 求められる「脳とこころの科学」—教育・医療・モノづくり—
- 5 月号 歴史教育の明日を探る—「授業・教科書・入試」改革に向けて—
 情報システムの利活用による農業の産業競争力の向上
- 6 月号 高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言
 —国民的合意形成へ向けた暫定保管を巡って—
 日本語の歴史的典籍データベースと研究の未来

学術会議叢書 A5 判・本体価格 1,800 円 + 税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 1,750 円 (税・送料込)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理 (品切れ) | 13 科学のミコンダクト (品切れ) |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 14 性差とは何か (品切れ) |
| 3 男女共同参画社会 (品切れ) | 15 医療を崩壊させないために (品切れ) |
| 4 エネルギー学を考える (品切れ) | 16 食の安全を求めて |
| 5 多発する事故から何を学ぶか (品切れ) | 17 ダーウィンの世界 |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命 (品切れ) | 18 科学を文化に |
| 7 先端科学技術と法 (品切れ) | 19 生殖補助医療と法 (品切れ) |
| 8 食の安全と安心を守る (品切れ) | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 9 医療事故は予防できるか | 21 高レベル放射性廃棄物の最終処分について |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか (品切れ) | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 11 舞踊と身体表現 | |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円 + 税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 730 円 (税・送料込)

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学— (品切れ)

◎ 当財団の運営、ニューズレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。
 今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約 2,000 の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記 URL からいつでもご覧いただけます。

※ リニューアルに伴い、URL が変更になりました。

<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

公益財団法人日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>